



子どものスマホの先、 誰とつながっているか知っていますか？

～『スマホを買い与えて終わり』ではありません！～



子どもが、SNSを通じて犯罪に巻き込まれる被害が増えています。スマートフォンは、緊急時の連絡等、便利な反面、インターネット上には様々な情報が氾濫しており、使い方を間違えると犯罪に巻き込まれる危険もあります。子どもにスマートフォンを持たせる場合、ネットリテラシー（インターネットを適切に使いこなす能力）が未熟なため、大人が適切に管理し、見守っていくことが大切です。



家庭内でルールを決めましょう

「家族のいるリビングで使う」「21時には電源をオフにする」等、家庭内でスマホを使う場所や時間を、子どもと話し合っ、ルール化しておきましょう。

フィルタリングの活用

子どもが違法・有害なサイトにアクセスしないよう機能を制限する「フィルタリングサービス」を利用しましょう。利用設定は保護者の義務です！

※利用できるサービスや設定方法は、事業者やアプリによって異なりますので、契約している携帯電話会社等に確認してください。



利用状況をチェックしましょう

「誰とどんなやりとりをしているのか」「知らないアプリを入れているか」等を確認しましょう。親も使い方がわからないアプリは子どもに使わせるべきではありません。

子どもとコミュニケーションを！

ネット上には、「悪い大人」もいることを伝え、日頃から子どもが被害者となった事件等、具体的な危険について話をしましょう。まずは、何でも話し合える関係づくりを！

